

防災井戸

事業内容：「まちの防災設備」設置
事業費額：約86万円
設置年度：平成27年度
設置目的：災害時の生活用水確保

—災害への備えは絶対に必要です—

- 防災井戸を作られたきっかけは何でしたか？
会：私が会長に就任して、まず第一に防災対策を考えた時に、市の職員の方から説明されたことです。
- 制度の利用にあたって何か負担に感じたことはありましたか？
会：全くありませんでした。地域の防災に対する意識が高まっていく中で進められ、自治会の皆さんもやる気を出してくれました。
- 地域の防災に対する意識は変わりましたか？
会：大きく変わりましたね。我々の自治会では防災井戸と防災倉庫を設置したのですが、中身の確認や不足しているものはないかみんなで考えるようになりました。
- 広報活動はどのようにされましたか？
会：毎月開催している定例会で周知し、地域の回覧板にも皆さんの目に届くよう1か月程度の期間を設けました。
- 制度の利用を検討している方に一言お願いします。
会：災害が起きた時のことを考えれば備えは絶対に必要です。いざという時のため、こういった制度を積極的に利用してみても良いでしょう。

<平成29年度インタビュー時点>



渡辺会長



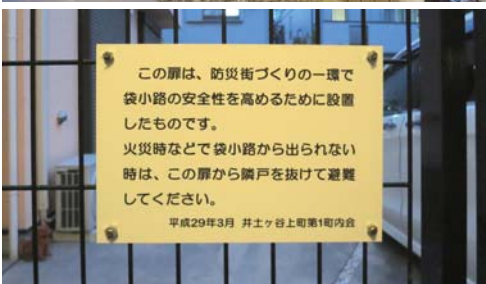
事業内容：「まちの避難経路」行き止まり改善
事業費額：約16万円
設置年度：平成28年度
設置目的：避難時の行き止まりの改善

南区 井土ヶ谷上町第一町内会 05 避難扉

—地域のために、是非とも—

- 避難扉を設置したきっかけは何でしたか？
会：地域の勉強会でまちあるきをしまして、その時に行き止まりが多いな、と感じたことがきっかけです。
- 制度を利用する際に何か負担に感じたことはありましたか？
会：必要な書類がとても多かったのですが、市の職員の方の手伝いもあって、申請はうまく行えました。
- 避難扉を設置したことで何か変わりましたか？
会：目に見えるものが一つあると意識の向上に役立ちますね。関心の薄かった人たちも、協力的になってきたように感じています。
- 広報などはされましたか？
会：広報誌に載せたり、総会など人が集まるタイミングでお話をしたりしました。
- 制度の利用を考えている方に一言お願いします。
会：多少手間はかかりますが、地域のために是非とも利用してください。

<平成29年度インタビュー時点>



佐々木会長

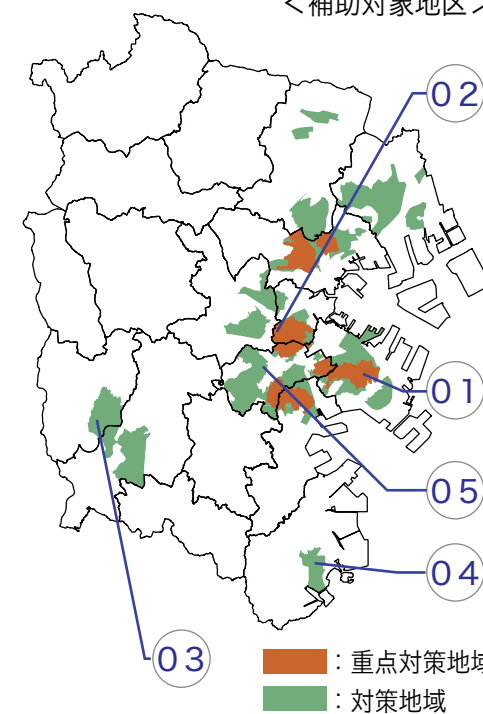


横浜市の地震火災対策

身近なまちの 防災施設整備事業補助 事例集

- 01 中区 住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会
防災広場
- 02 西区 東久保町夢まちづくり協議会
防災広場
- 03 泉区 中下自治会
防災倉庫
- 04 金沢区 寺前東町・寺前西町・金沢町まちづくり協議会
防災井戸
- 05 南区 井土ヶ谷上町第一町内会
避難扉

<補助対象地区>



■：重点対策地域
■：対策地域



身近なまちの防災施設整備事業補助とは

横浜市では、「燃えにくいまち・燃え広がらないまち」の実現に向けた取組を進めています。大規模地震による火災の危険性が高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」及び「対策地域」を対象に、共助による地域防災力の向上を図るため、自治会町内会等が行う防災施設（避難経路、防災広場、防災設備）の整備等に対し補助を行っています。
基本的な補助率は9割で、残りは申請団体の負担になります。補助対象地区や補助限度額など、制度の詳細については都市整備局防災まちづくり推進課のホームページやリーフレットをご覧ください。直接お問い合わせください。



リーフレット

01 中区 住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会 防災広場

—防災だけではなく「まちづくり」の拠点として—

- 防災広場を整備したきっかけは何でしたか？
会長（以下 会）：当協議会には2つの町内会があるが、山坂で分かれています。広場を整備した町内会には公園もなく、防災倉庫も置けませんでした。しかし、町内会員が所有する空き家があり、広場にする固定資産税の減免もあることから、空き家を壊して、広場にするようになりました。
- 整備までに大変だったことは何ですか？
会：手続きが大変でした。また、空き家の撤去費は全額補助でしたが、広場整備は協議会の負担もありました。
- 完成後、どのように使われていますか？
会：まず防災倉庫を設置しました。また、防災訓練の拠点以外にも、餅つきなど地域のイベントでも活用しています。
- 制度の利用を検討している方に一言お願いします。
会：コミュニティを大切にしたいと情熱があればこそ。そのためにも、集まれる場所や防災倉庫を置く拠点は必要になるので、拠点が無い地域では特に大事な制度だと思います。

<令和2年度インタビュー時点>



鎌倉会長



活用例

事業内容：「まちの防災広場」整備
事業費額：約313万円
設置年度：平成30年度
設置目的：空き家の解体と防災拠点の整備

事業内容：「まちの防災設備」設置
事業費額：約27万円
設置年度：平成28年度
設置目的：防災用品の備蓄

03 泉区 中下自治会 防災倉庫

—これは使えるな、と—

- 本制度をどのようなきっかけで知りましたか？
会：町内会長会議があった際に、区役所の職員から説明されて、「これは使えるな」と感じました。
- 手続きで苦労されたことなどはありましたか？
会：見積を2社取らなければいけないのですが、希望するメーカーの防災倉庫を扱う業者が見つからずに苦労しました。最後は、地元の業者に何とかお願いしてできました。
- 防災倉庫を設置したことで、何か変わりましたか？
会：大きく変わりましたよ。防災倉庫が看板代わりになって、ここが「いっとき避難場所」であることが地域の方にわかってもらえるようになったのは素晴らしい効果です。
- 町内会で何か周知はされたのでしょうか？
会：町内会の広報誌で紹介しました。年に一度周知することで新しく来た人にも知ってもらうようにしています。
- 申請を検討されている方に一言お願いします。
会：9割補助してもらえるのは助かるので、ぜひ使ってほしいですね。

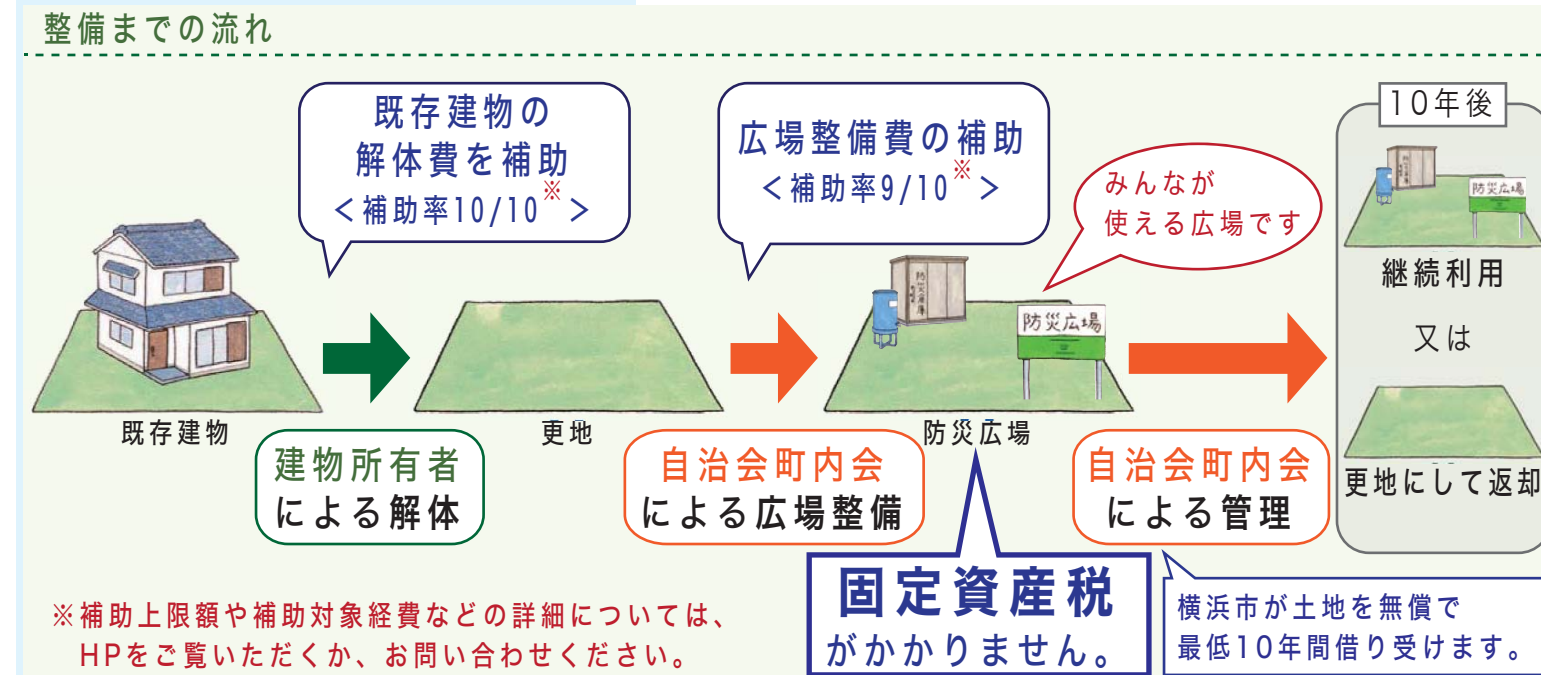
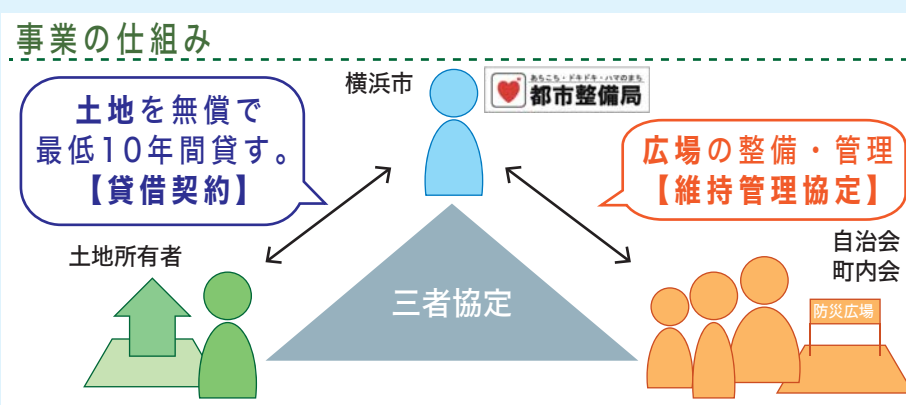
<平成29年度インタビュー時点>



高橋会長

ミニコラム

防災広場の整備までの流れと仕組み



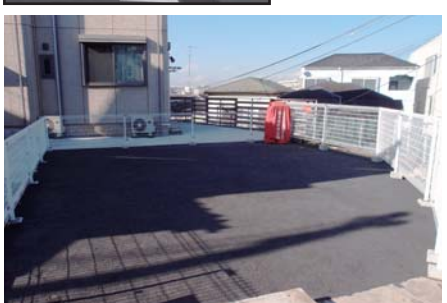
事業内容：「まちの防災広場」整備
事業費額：約120万円
設置年度：令和2年度
設置目的：空き家の解体と防災拠点の整備

02 西区 東久保町夢まちづくり協議会 防災広場

—「七曲り坂」のてっぺんに、地域の憩いの場を—

- 防災広場を整備したきっかけは何でしたか？
会：協議会の打ち合わせで「まちの防災広場」の制度を市の職員から説明されたところ、役員が一人所有する空き家があったことから検討を始めました。
- 整備までに大変だったことは何ですか？
会：資金繰りが大変でした。当協議会には3町内会があるが、整備するにあたり、その3つの町内会から資金を出し合いました。また、このエリアは山の上であり、スーパーが無いことから、協議会で即席の野菜販売所を設けたりして、その売り上げも整備費用に充てています。
- 広場を今後どのように使っていきたいですか？
会：完成したばかりですが、非常時はもちろん、地域の人がよく通る急な坂「七曲り坂」の上にあるため、ちょっと一休みできるような憩いの場になるとよいです。
- 制度の利用を検討している方に一言お願いします。
会：資金面で協議会の負担は大きいですが、自分たちで整備内容を決めて完成させるので、愛着のある場所になると思います。

<令和2年度インタビュー時点>



和田会長 村上副会長